

なみえの未来をともにつくります



なみえ

議会だより

2006.2.1

No. 111

後期中等教育検討会設置



12月定例会

合併50周年記念行事は
補正予算・条例改正…P 3～4
一般質問 14人登壇……………P 6～19
行政視察レポート……………P20～21



12月定例議会

ワツシヨイ、ワツシヨイ、

浪江の町づくり

平成17年第6回浪江町議会定例会が12月13日から12月20日までの8日間の会期で開催され、一般質問には14人が登壇するなど活発な論戦が交わされました。

今議会に提案された議案は、17年度一般会計補正予算、浪江町と南相馬市、双葉町との国営造成施設管理体制改革促進事業の事務の委託に関する規約の制定についてなど18の議案、議員発議による意見書1件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。請願では、請願書1件（不採択）が審議され、意見書1件を関係機関に提出しました。

また、議会報編集特別委員会、議会運営委員会の視察研修報告が委員長よりありました。



補正予算

一般会計

歳入・歳出それぞれ1821万円を減額し、総額を73億4817万円としました。主なものは、台風による災害復旧費1274万円、支援費384万円、中学校教科書改訂用教材費350万円、合併50周年記念事業費300万円の増額、道路新設改良費で事業確定により1220万円の減額です。(全会一致で可決)

夜間での防災訓練も行うべきではないか

住民生活課長
住民の理解がなければ困難ではないかと思われます。

町長

町長はじめ担当課は24時間体制になっています。町民には広報等で心構えについて啓蒙を続けてまいります。

歴史に残る合併50周年記念行事

質問
全町民が参加し、10年後20年後に50周年記念行事に何をやったか残るようなものをやる考えは。例えば桜と紅葉の町にする、全戸に対する50周年の記念品など。

町長

ご指摘を参考にし、丈六公園を整備するとか、20年後、30年後に歴史としてわかり得るような行事を数多く折り込んでまいります。

質問

事業予算300万のうち主催事業、冠事業についてどの程度の予算配分を計画しているのか。

総務課長

300万円は記念誌の発行です。主催事業、冠事業は平成18年度予算で計上することになっており、確定

しておりませんが主催事業で約1500万円、冠事業についてはまだ未定です。

質問

主催事業、冠事業の実施団体のほとんどが浪江町となっているが町主導でやるのか、町民参加による実行委員会組織でやるのか。

町長

予算執行上の意味であって、実施団体の浪江町というのは全浪江町民を対象にしているということです。

奨学資金貸付事業特別会計

奨学資金の繰上償還があったため230万円を増額し、一般会計繰入金を減額するもです。(全会一致で可決)

国民健康保険直営診療施設事業特別会計

賃金及び備品購入費を増

額し、予備費を減額するもので、主なものは臨時事務補助員賃金です。(全会一致で可決)

公共下水道事業特別会計

歳入歳出総額をそれぞれ1070万円減額し、総額7億3740万円としました。歳入は町債1070万円の減、歳出で建設費1500万の増、予備費2570万円を充当したものです。(全会一致で可決)

水道事業会計

収益的支出の営業費用で漏水箇所修繕費で400万円の増額、営業外費用30万円の減額です。資本的支出で第一体育館入口の配水管の改良費で250万円の増額補正です。(全会一致で可決)

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

津島辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて可決しました。(全会一致で可決)

津島地区の携帯電話鉄塔の建設について

質問

国の難聴地区の格差是正事業が平成17年度で終わるが、事業の継承は。

企画調整課長

県の単独事業として引き続き事業を行います。

質問

3本目の鉄塔建設見通しと、難聴地域が解消される有効な場所への設置については。

企画調整課長

平成18年度に実施いたします。赤宇木塩浸周辺で電波の検査をし、より広範囲に取れる所に設置する内容となっております。

条例改正

後期中等教育検討会設置

浪江高校及び浪江高校津島分校の在り方に関して、広く町内の教育関係者や有識者に議論していただき、浪江町の考え方を取りまとめるため検討会を設置するものです。(全会一致で可決)

奨学資金貸付対象に専修学校を追加

奨学資金貸付資格について、新たに専修学校(修学年限2年以上)を加えるものです。(賛成多数で可決)

反対討論

貸付対象が専修学校専門課程に広がったことは良いが、第16条の特別会計を廃止し、一般会計で行うというのは条例の目的、趣旨を軽んずるもので反対します。

賛成討論

結局は一般会計から支出して運用しているので、制度が適正に守られ議会のチェックがはたらいっているのであれば、行政側のやりやすい一般会計の処理方法に賛成します。

奨学資金貸付事業会計を一般会計へ

奨学資金貸付事業特別会計を廃止し、収支を一般会計で経理するための改正です。(賛成多数で可決)

なぜ特別会計をなくすのか

質問

奨学資金の特別会計を一般会計でやるようになった経緯は。

教育総務課長

昭和49年より篤志家の寄付と一般財源を元に特別会計を設置し高校生までを対象としましたが、平成11年から大学生まで拡げ貸付額も増加し、一般会計からの繰り入れが毎年多額となっていたため、一般会計で処理しても支障はないということになりました。なお一般会計の中に奨学資金貸付事業という項目を設けまして経理をしております。

質問

特別会計について、見直

す部分は奨学資金ばかりではないと感じるがどう考えるのか。

総務課長

他の特別会計についても一般会計で処理した方がよいと感じる部分もありますので、今後検討してまいります。

中学校にパソコン76台購入

中学校のパソコン教室用パソコンの機種更新のため、浪江中、浪江東中それぞれデスクトップ型パソコン38台を購入し配置します。契約金額は1326万1500円で株式会社サトウ教材社と契約締結しました。(全会一致で可決)

人事

◆町教育委員に紺野さん



紺野 廣光

教育委員会委員に、紺野廣光さん(請戸字小谷地8-17)を選任することについて全会一致で同意されました。

◆人権擁護委員に林さんを推薦



林 心澄

法務大臣委嘱の人権擁護委員に、林心澄さん(小野田字清水102-1)を適任者として全会一致で推薦されました。

浪高津島分校を存続させるための検討委員会について

質問

委員12名程度となっているが、何名かは必ず公募していただきたい。また女性は何名か。

教育長

文教厚生常任委員会でも議論がありました。意見を踏まえて検討させていただきます。

皆さんから出された

請願 陳情

議員発議の 意見書

○義務教育費国庫負担制度の堅持・充
実を求める意見書
〔提出先〕

内閣総理大臣
総務大臣 財務大臣
国土交通大臣
経済財政政策担当大臣

不採択とされた 請願

○住宅リフォーム助成制度の創設
に関する請願書

〔請願者〕
相双民主商工会
会長 紺野重秋
原町市日の出町189-12

その他の議案

- ①専決処分
 - 福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数減少及び同組合規約の変更について「専決12・14号」
(全会一致で承認)
 - 福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数増加及び同組合規約の変更について「専決13号」
(全会一致で承認)
- 福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の増加について「専決15号」
(全会一致で承認)
- ②浪江町と小高町及び双葉町との国営造成施設管理体整備促進事業の事務の委託に関する規約の廃止について
(全会一致で可決)
- ③浪江町と南相馬市との国営造成施設管理体整備促進事業の事務の委託に関する規約の制定について
(全会一致で可決)
- ④浪江町と双葉町との国営造成施設管理体整備促進事業の事務の委託に関する規約の制定について
(全会一致で可決)

国道114号浪江拡幅整備事業の 促進について要望書提出

平成17年11月25日、副議長、114号特別委員会委員9名が馬場県議同行のもと、114号浪江拡幅整備事業第1工区本体工事の早期着工、第2工区の推進について、相双建設事務所長、県土木部長に対し要望書を提出しました。



◆11月臨時会◆

職員給与 0.3%引き下げ

11月臨時会（第5回浪江町議会臨時会）は11月28日に開催され、職員の給与に関する条例の一部改正と、それに伴う各会計の補正予算7件が原案通り可決しました。



急げ、耐震構造の総点検

地震に強い施設を

質問

災害が国内外で多かった一年間でした。改正耐震改修促進法が10月28日に成立し、都道府県が耐

震改修促進計画を作るこ
とが義務付けられました。
現在、工事が終了した
公共施設と耐震改修工事
が必要な公共施設はどの
くらいあるのか。

建設課長

平成16年度末で対象施設は20件あり、そのうち



18年度に耐震改修される浪江東中学校

耐震診断済が8件で、耐震工事が完了した施設は浪江中学校校舎、浪江小学校校舎の2件です。

18年度に浪江東中学校校舎の耐震改修工事を実施する予定です。

質問

一般住宅の耐震改修工事の相談窓口設置計画はあるのか。

建設課長

浪江町木造住宅耐震診断者派遣事業の実施要項を制定し、10月1日から耐震診断の申し込み受付を開始しました。

広報なみえ10月号、11月号、浪江町ホームページで広報しています。

真心の養護を

質問

11月1日、高齢者虐待防止、養護者支援法が成立しましたが、現在、65

歳以上の高齢者は何名いるのか、養護を必要とする高齢者は何名いるのか、虐待を受けた報告はあったのか。

健康福祉課長

65歳以上の世帯は326世帯、人口5391人、養護を必要とする高齢者は掌握していません。介護度3以上の対象者は9月現在、155世帯、338人です。

平成16年度に身体的虐待が1件、平成17年度に食事提供を放棄が1件ありました。

虐待の通報があった家庭には、健康福祉課高齢者係が対応しています。必要に応じて老人福祉法の措置、施設支援の対応をしています。

早期復旧を図れ

質問

県道落合浪江線で土砂崩落が発生し通行止めになっている、今後の復旧計画は。

町長

富岡土木事務所、相双建設事務所、さらには県土木部に対しても早期復旧をお願いをしています。工期は3月20日になっています。

質問

スクールバスを利用できない、どのような通学支援するのか。

町長

公立小中学校遠距離通学費補助金交付要綱を一部改正を行い、災害等で通常の通学方法により通学できない場合を追加して助成したいと思います。

男女共同参画社会づくりのための取り組みは

質問

男女共同参画社会という意識を知る上での現状把握の実態調査をしているのか。

総務課長

男女間の問題意識を探るために18年度に実態調査をします。

質問

国、県等では女性支援セミナーや勉強会、女性のエンパワーメント（女性が社会的に力をつけること）のための講習会、男性のための意識改革セミナー等、たくさん研修を実施しているが、行政に携わる職員の派遣はどのくらいの回数でしているのか。または、その内容は。

総務課長

17年度は、職員の研修を6回ほど二本松男女共生センターに派遣し、更に、18年1月には浜通りの市町村の担当者会議

が、浪江町役場を会場に開催する予定です。意識改革のためのセミナーは、役場職員全員参加で行っています。女性のための、エンパワーメントの講習会あるいは研修会は、今後の行動計画で実施して行くつもりです。内容はいろいろと幅広い学習をしています。

質問

第4次長期総合計画に沿った、具体的な実施計画はあるのか。

町長

すでに実施計画に入っています。それほど遅れずに近い将来において、条例づくりの作業に入れているのではないかと考えています。その時には、数多い女性の方々にもご意見をいただきながら、町に合った条例の制定に向けた行動を起こして行きたいと考えています。

質問

行動計画の作業の段階に入るということでしたが、今後、女性支援センター設置や共同参画室設置の新規導入計画はあるのか。

町長

そういった支援は、自然の営みの中で男女が共生できることが理想ではありますが、強いて、施策の中で取り組んでいかなければならないと考えています。早急には無理だと思えます。高齢者支援や、子育て支援といったことやバリアフリーを進めるといったことと同じ観点です。全てが関わってきますから、社会づくりの基本的な構築が必要とする認識でおります。

質問

庁舎内の行政に携わる女性の地位向上

を進めるべく人材育成と登用は次年度の人事異動に反映されるのか。

町長

18年度の新規採用の男女の比率は問わずも女性の数が多くなっています。ある程度の目標をもって進めて行きたいと考えています。

質問

年齢によってジェンダーの意識が異なっています。年代別の意識調査や意識の改革が必要と思われませんが取り組みについて

いて具体案はあるのか。

総務課長

年齢によってかなりの意識差があるといえます。最近では授業参観などにご夫婦で来たり、乳児検診に父親と一緒に来たりと、だいたい教育の場や子育ての段階でや、福祉の全般においてそれぞれ男女参画の社会構成になりつつあると思います。これからも体系的に取りまとめをして研修等を重ねて行きたいと考えています。



社会へ再チャレンジ



|| 紺野 榮重 議員 ||

町政と問う

一般質問

農業政策を問う

担い手農業を支える取り組みは

質問 経営安定化対策をどのように進めるのか。
産業振興課長 集落実



どう進む、集落営農

実践組合役員、認定農業者に説明会を開催しましたが、今後早急に部落座談会を開催します。

質問 中小農家に対する支援をどのように考えるのか。
産業振興課長 将来的

には中小農家へは作業の受委託を含めた、集落営農に向けての取り組みを推進して行きます。

質問 農協との連携は。
産業振興課長 J A ぶたばでは、町と連携の中で、集落営農の推進を図っております。

質問 浪江町で担い手農家（認定農業者）は何人なのか、また集落営農は何地区あるのか。
産業振興課長 認定農家は86名、集落営農実践組合10地区です。

質問 いもち病対策を今後どのように進めるのか。
産業振興課長 防災無線等を通じて、農家に周知徹底を図ります。

質問 いもち病の場合には1反ごとの消毒では効果は薄く、全面散布が基本ですが、一斉防除の日を決めて実施できない

のか。

産業振興課長 防除に對しての啓蒙を図ること、そして実施要望の取りまとめと責任者を決めていただき3ヘクタール以上の団地化を基本に調整を行います。

介護老人保健施設の建設許可はいつか

質問 経過はどのように進展しているのか。

町長 設置地区地域住民の説明会が開催されます。福島県社会福祉施設等選定審査委員会が平成18年1月開催の予定で、審査会の意見を聞いて選定可否決定を行う予定です。

質問 老人介護保険施設建設に対して一定の方向性が見え、1月に県のゴーサインが出る可能性が大きいと理解しているのか。

町長 決定権はあくまでも県にあるわけですが、大方その方向で進む

のではないかと思います。
質問 浪江町の介護老人保健施設の今後の建設の予定はどのようになるのか。

健康福祉課長 工事が平成18年7月から平成19年3月までの工事期間。開設予定時期19年5月となっております。

質問 介護福祉施設建設にあたっては双葉郡としての広域的な考えはないのか。

町長 介護施設に關連してほかの施設等についても調整しながら進むべきであると思えます。なるべく効率的な行政執行ができるように配慮してまいりたいと思えます。また広域的な整備を図る必要があり双葉郡町村の福祉担当課長会議で提案させたいと考えます。
質問 慶応橋から延長の道路北側に伸びる計画はないのか。
建設課長 町道大町作内線狭小区間の待避所設置と一部改良の検討をしているところですが。

原子力発電所予定地の用地交渉と 企業誘致の取り組みは

質問

町の人口が急激に減少している現状で、若者を含めた町民の働く場所の確保が急務と思われる。そのためには、原発の用地をしっかりと決める事と、企業誘致をすることが、町の将来に希望を見出すことになるかと考えられるが、用地交渉の進捗は。また、企業誘致促進費予算の8割も不用品で決算計上されていたが、企業誘致に真剣に取り組んでいるのか。

町長

原発予定地の未同意者との交渉は、東北電力株式会社が個々に当たっており、今のところ目に見える進展はありませんが、内々には大きな進展を見ると捉えています。企業誘致の予算はありませんが、情報収集や調査等

を実施しております。今後、長期総合計画にも示しており、景気も回復基調にあり、休止状態の工業団地についても解除するかを今後考えたいと思います。

町の農業・農家・農地をどう守りどう支援するのか

質問

経営所得安定対策等大綱が決定され、今後の町内農業をどのように守り支援するのか。

産業振興課長

認定農業者、担い手を主体とした集落営農の形態にするかは、その地域の実態を踏まえて推進します。農地集積推進については関係機関と連携し

て、利用権設定、土地の斡旋、流動化の推進を図ります。事務の支援は、普及所が各集落単位に指

導推進します。これらを含め安定した農業の基盤を造りたいと考えています。そして担い手に集積

された地域を拡大して、環境保全型農業、農道、水路保全に支援して行きます。

行政改革の取り組みは

質問

益々厳しくなる財政を踏まえ、行政改革をどう進めるのか。

総務課長

行政改革推進委員会でこれまで検討されました。この提言を尊重して、改革大綱を作成して、今年度中には公表したいと考えています。



担い手型農業をどう進めていくのか



|| 佐々木恵寿 議員 ||

町政と問

一般質問

合併50周年を迎え 「町民の日」制定の考えはあるか

50周年を迎え 町民に何を伝えたいか

質問 50周年を迎えるにあたり町長の基本的な考えを伺いたい。

町長 昭和31年5月1日、浪江町と大堀、荻野、津島の3カ村が合併して現在の浪江町が誕生してから50周年を迎えま

す。浪江町はこの間、確かに進展してきました。分権型社会システムへの転換が求められている今日、浪江町においても人口減少時代の到来、住民ニーズの高度化、多様化など社会経済情勢の変化に一層適切に対処することが求められています。

第4次浪江町長期総合計画の基本理念であります「なかよく・みんな・え

がおで」の理念に基づいてまちづくりを進めていきます。

質問 50周年記念事業についてどう取組むのか。50周年という節目の年にあたり、町民に対して伝えたいことは何か。

町長 50年という節目にあたる平成18年は、町民と共にこれまで歩んで来た事への感謝の意味と、将来の浪江町を築き上げるための決意を込める意味でも、町民と共に合併50周年記念事業を一年間通して実施して行く考えです。

なる庁内検討会議において検討し庁議に報告をしました。記念事業は50周年記念事業に限定した主催事業と、従来から実施してきた各種事業に冠をつけて実施するものに分けます。記念事業は平成18年1月から実施して行きます。5月1日には記念式典、原田直之さんの記念公演を予定しています。また、50年の歩みを掲載した記念誌を作成し、町内全世帯に配布する計画です。その他に興化市訪問町民の翼を秋頃に実施したいと考えています。

質問 公募を主体とした実行委員会による、記念事業を企画するための組織を立ち上げる考えはないのか。

総務課長 各事業についてはそれぞれ各課事業

を分担して実施します。野外ふれあいコンサートや花火大会は、民間の協力は不可欠と考えています。実行委員会を設置して実施する方向で内部検討をしているところです。

「町民の日」を制定しよう

質問 浪江町誕生の由来を子供たちや孫たちに伝えると同時に、町民に対する愛町精神等を育むためにも「町民の日」を制定する必要があると思いますが、その考えはあるのか。

総務課長 「町民の日」は、記念日を町民で祝福し、公共施設の無料開放などが考えられますが、他の団体等を調査し参考にしながら検討します。



初日詣大会で記念事業がスタート

質問 50周年記念事業の事業内容及び事業の推進体制、また経費等は、**総務課長** 記念事業の検討にあたっては職員から

質問 50周年記念事業の事業内容及び事業の推進体制、また経費等は、**総務課長** 記念事業の検討にあたっては職員から

請戸小学校の心身障がい児受け入れの取り組みは

「第2次浪江町障がい者福祉計画」が示され、平成18年度から請戸小学校で心身障がい児の受け入れを実施するが、取組みは。

教育総務課長

専門教育者は配置できないが介助員1名を配置します。研修は大学の教授を招き、幼稚園を含め

た全教員を対象にし、教育研究会の他、校内委員会でも行い、今後も対象範囲を検討します。健康者との相互理解のため講

演等の案内をします。子供を見極める相談窓口は学校心理士に依頼し、教育総務課で行います。リハビリについては各課協議して要望します。浪江

の蓋掛け、災害時に避難する道路整備計画の必要性は。また、登下校時の安全確保連携のため地域安全条例の制定の考えはあるのか。

教育総務課長

専門教育者の配置と特殊学級設置は

質問

専門教育者を配置し、普通学級教職員にどのような研修を図るのか、健全児童と共生のために周囲との協力体制はどう考えるのか、相談指導の窓口はどこなのか、馬場県議が推奨したりハビリティーションと、事業時間帯を町に調整願いたい。また特殊学級設置は。



バリアフリー化して受け入れ準備が整う請戸小

施設整備計画と中学校への引継ぎ、そして周辺環境整備は

質問

請戸小の改修計画と進行状況はどうか。浪江東中への進学は可能なのか。町道に隣接する水路

小に知的障害、難聴を、津島小に知的障害の特殊学級があります。特殊学級は設置基準がある、新設では4人以上、既設は2人以上であり請戸小は該当していません。

質問

ノーマライゼーションの趣旨に則り障がい児の児童クラブへの受け入れは。

町長

現在の児童クラブの運営状況から難しいと思う。学校側とよく相談して体制を考えます。



|| 佐々木 茂 議員 ||

田政と問う

一般質問

養豚場の臭害と水質環境問題は

質問

養豚場からの臭いについて把握しているのか。

住民生活課長

季節により臭いがすると聞いているが、住民からの苦情や要望はありません。

質問

地下水や処理された、し尿の放流についてどのような対策をとっているのか。

のか。

住民生活課長

水質検査は年2回、地下水の濁水または汚染については把握していません。

質問

どのように検査をしているのか。

住民生活課長

北部衛生センターで定期検査をしている。今の

所水質に問題はないと聞いています。

質問

臭いの飛散範囲を把握しているのか。

住民生活課長

把握しておりません。

質問

臭いの問題についてどう取り組むのか対策はどうするのか。

住民生活課長

10頭以上の場合には規制はあるが、それ以下だと規制はない。しかし、今後の課題として調査して行く必要があります。

質問

臭いの公害として考えた場合、地区の不動産売買について影響はないのか。

住民生活課長

臭いの状況や不動産取引についてどのようになっているのか把握していません。

質問

畜産施設に対しては公

住民生活課長

住民からの要望があれば前向きに取り組み、強く指導していきます。

質問

水質環境問題として畜産を捉えた場合どのようなして、し尿処理及び排出堆肥の処理を行っているのか把握をしているのか。

住民生活課長

浪江・葛尾・田村市の河川汚濁防止の協議会の活動は。

質問

現在動いていないが今後勉強していきます。

町長

水と土の保全基金もあり、環境問題への配慮から有効に取り組むために検討します。

質問

畜産施設に対しては公



環境との共生が求められている



渡邊 文星 議員

住民参加型の予算編成と 情報開示の実現を

質問

12月議会では、次年度予算編成方針(案)を論議する議会ではないか。

総務課長

現時点では無理です。

質問

新年度の新規事業は、予算獲得の努力は。

企画調整課長

国・県に陳情しているが、具体的な事業獲得に至っていません。

質問

次年度予算編成方針(案)の具体的内容は。

町長

継続事業はシーリングをかけ、平成17年度ベースのゼロベースで望みます。

質問

第4次浪江町長期総合計画に基づく基本計画は、次年度予算編成にどのように具現化されています。

るのか。概略の内容と、大枠の予算規模は。

企画調整課長

現在は、おおよそ事業計画で、これから精査するため、項目ごとに申し上げる段階ではありません。

質問

次年度の最優先事業・重点施策等、何も具体的な内容が、明らかにならない。『寄らしむべし、知らせるべからず』の古い行政体質と認識する。予算審議前に議会や住民の声を反映できるような改革を行う考えはあるか。

町長

考えはある。慎重に対処します。

財政健全化は維持できるのか

質問

平成16年度※経常収支比率が80%の危険水域に達したことから、財政悪化が懸念され、更なる財政の硬直化を招き、住民サービスの低下が予測される。

今後の財政運営で適正水準を示す予算額は。

総務課長

財政指数のガイドラインを目安に、財政運営を行います。

質問

平成17年度の経常収支比率は、おおよそ何%に推定するのか。

総務課長

現時点で平成16年度より比率は高くなる見込です。

質問

高速道路付帯工事の町負担額と財源手当ては。

建設課長

約4億円強で、新たな負担増も考えられません。

総務課長

一般財源で、起債も考えています。

質問

財源手当ては、財政調整基金を当てる予定ではなかったのか。

総務課長

特殊財政事情で取り崩しをしました。

用語解説

経常収支比率

財政の弾力性(ゆとり)を見るための指標です。用途を制限されない経常的な収入(地方税、普通交付税等の毎年収入される性質の収入。)に対する経常的な支出(人件費、公債費、扶助費等の毎年経常的に支出されるもの。)の割合が低いほど、財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できることを示します。

$$\text{経常経費に充当された一般財源の額} \\ \div \text{経常一般財源} \times 100$$

※一般財源…何に使うかを制限されない財源。

経常収支比率 = 75%以下が望ましい。



横山 精一 議員

町政と問う

一般質問

健康科学プラザ(仮称)構想はどの程度進捗したか

用地の確保と転用の許可は

質問 健康科学プラザの財源と用地は確保されたが農地転用の許可はどの程度進んでいるのか。

企画調整課長

用地の取得を平成17年度予算に計上し財源等については確保され、現在農振の農用地区域から除外の手続き中で予定では年度内に済むと思います。

質問

申請書に添付された書類には温泉設備の周囲にパークゴルフ場の建設が計画されているが、

町長

当初の合意について直接関与しておりませんが、これはあくまで東北電力株式会社が計画を進

め建設し、最終的に町の方に贈与すると私は伺っており、私見で申し上げるならば、マリナーパークに今27ホールのパークゴ

ルフ場を有し、常に盛況を得ており、やはりじっくりと考えてみなければいけない問題と考えています。



いつになる健康科学プラザ建設

質問

今後町当局として地元の見解、要望の集約を含めどのように対応されるのか。

企画調整課長

当然のこととして現在掲げている計画をより綿密に仕上げていくというような観点から、地元の方々と施設の内容を細かく協議を重ねたいと考えています。

浜街道の地形測量の内容は

質問

通称浜街道の狐塚地区から浦尻地区までの区間の狐塚地区内300メートル区間の地形測量が実行された内容は把握しているのか。

建設課長

去る10月5日、相双建

設事務所の発注により地形測量が行われており、具体的には2百メートル、幅が50メートル幅の平面測量です。

質問

浜街道整備事業、健康科学プラザ構想を一体的事業と捉えれば、経済効果も図れると考えるが。

建設課長

現在、県道浜街道は請戸橋工区橋脚下部工が2、3年かかる中で県道長塚・請戸・幾世橋線までの区間の用地の確保をしている段階で、北沢工区と狐塚地区内の非農用地の買収をお願いしており、現在測量をしていると聞いております。当然健康科学プラザに通じる非農用地である町道についても一本化して整備ができると思います。

高瀬川溪谷整備事業について問う

質問

2億円の巨費を投じて高瀬川溪谷周辺の整備事業計画があると聞いています。整備事業目的、事業計画、事業予算の財源について説明を求めます。

町長

今回の整備事業は、県の広域観光拠点整備事業と町が連携して行う事業です。浪江町の観光発展

を考えたときに高瀬川溪谷一帯は重要な観光拠点になります。観光開発をして交流人口の拡大を図りながら、町の活性化に継ぎたいと考えています。

建設課長

整備事業計画の内容は、平成18年度の単年度事業で県と町との共同事業になります。

町の工事は、一の宮、戸神山などの観光スポットの駐車場整備、水洗トイレの整備、遊歩道の整備、6号国道に案内板等の設置を計画しています。

県の工事は、高瀬川溪谷沿いの県道落合浪江線に隣接する狭小区間の待避所、ガードレール、橋梁の高欄補修、道路の補修等の整備事業です。

財源は、町の予算として福島県電源地域振興財団補助金から約1億3000万円、県の予算は、電源立地地域対策交付金1億円程度です。

農業政策について

質問

集落営農と担い手営農を考えたときに、農地の集積が重要です。町では農地の集積推進にどのように取り組むのか。

産業振興課長

農地の集積は、JA、土地改良区、農業委員会等関係機関と連携強化を図り、利用権の設定、農地の斡旋により農地の流動化の推進を図って行きます。

ています。

質問

農産物の生産性を高めるためには、未整備のほ場整備が必要と思うが。

産業振興課長

ほ場の基盤整備をすることによって、農地の集積・集落営農に結びつくものと考えます。



眠れる観光資源 高瀬川溪谷



水道未給水地区の解消をどう図る

質問

厳しい財政状況の中、水道事業を独立採算の経営事業としての立場での発想では、未給水地区の解消は非常に困難と考える。しかしライフライン

でもあり、公共の福祉の立場に立った発想の転換が必要である。

一般会計からの繰入れを行い、給水を待ち望む町民の負託に応えるべきと思うが。

町長

未給水地区解消の財源確保は、これまでの様に借入金、交付金で対応せざるを得ない状況であります。

今後一般会計からの繰出しも最終的な選択肢になりませんが、まだ努力すべき事もあり、もう少し検討期間をいただきたいと思っております。



解体が待たれる旧焼却場

ゴミ焼却場の今後は

質問

焼却灰の処分場は、処理能力があと1年半という状況下であり、その対策はどうするのか。また安全確保の面から旧焼却施設の撤去が求められている。その対応は。

住民生活課長

焼却灰の処分場は今後大熊町の双葉クリーンセ

質問

指定管理者制度をどう運用する

指定管理者制度の条例が本年3月制定されました。町の施設等の管理運営は、民間参入への機会を図り、運営コストの削減やサービスの向上を目指すとした財政改革の大きな柱として位置付けられるが、町の現在の取り組みは。

町長

庁内での検討の他、行政改革推進委員会においても検討が進められており、提言の中に盛り

ンターの第2期工事と併せて行うとの方向性で検討中であります。旧施設の撤去問題については、平成19年度を目途に解体処分を計画しております。

込まれることになっております。行政の根本的な議論に関わる事でもありますので慎重に、また精力的に作業を進めております。

活力ある新たな産業祭りの創造は

浪江町を全国にアピール

質問

常磐道の開通、114

号国道拡幅事業、電源立地振興計画が進められる中、中心市街地は衰退の一途をたどっている。農業においても食生活の変化や農地法の改正に

より厳しさを増してくることも現状にあるが、そこで当町は何を創意工夫しなければならぬか。

インター付近に大規模な菜の花園を開園させて浪江通過でなくストツプ・イン・ザなみえにし、インター付近の開発によって新たなマーケティングが生まれます。豊かな水源と土壌に恵まれた農、海産物を商工会と連携し、地産地消に努め、浪江ブランドの開発を進める考えはあるのか。

どう思われるか。

町長

すばらしい提言をいただきました。

常磐道の浪江インターが供用開始になり、その上から眺めて一面真黄色の菜の花畑があれば、また行ってみたいと思うことでしょう。私もそういう光景を描いておりました。

今後多くの方々に協力をいただき、すばらしい環境づくりができるように議会にも協力をいただき、また、当町には多くの観光資源があり交流人口の増加を図る上でも鋭意具現化できるように努力します。

産業振興課長

JR東日本の支援を受け「地域の宝振興事業」を実施しているがその中身は。

福島県が有する豊かな自然や、美しい景観、優れた伝統文化や祭り、イベント、多様な生活文化等を地域の宝として創造、再発見して継承し、それらを持続可能な観光資源へ育てる具体的方策を検討する調査事業です。

事業の内容は、地域関係者を中心とした委員会を設置し、JR東日本から観光アドバイザーの派遣により、観光資源の実態、地域観光の現状把握、課題の抽出と整理を行い、シンクタンク福島が県と協議の上調査報告書を策定しますので、その内容が届いたら観光振興事業に取り組みます。



10万人の人出でにぎわう十日市

他町からのアクセス機能は行きやすい町として位置付けられ、交流人口の増加を図る上でも当町の資源を活かしての産業芸術文化を一同に会したフェスティバルのプランニングはあるのか。

たとえば浪江町を全国にアピールする目的として、日本酒のフォーラムを開催することについて

地域の お宝発見

質問

シンクタンクふくしま



津島の田植え踊り 国指定無形民俗文化財に申請を

**全国民俗芸能
大会でも高い
評価**

質問 昨年11月に全
国四つの代表演目に南津
島の田植え踊りが選ばれ
た。国指定の無形民俗文化

化財に申請を。

教育長

東京公演で好
評を博した津島の田植え
踊りを、国指定にしてほ
しいと考えております。
しかし、申請制度ではな
いので、関係機関に働き
かけをして行きます。



田植え踊りを全国へ発信

**国の農村基本
計画や大型店
「フランコ」出
店の影響と対
策は**

質問

小泉内閣は新
たな農政を決定した。

- ① 平成19年からは、米、
麦、大豆などの価格補て
んの対象を経営規模で選
別(個人経営4ha以上、集
落営農20ha以上)し、担い
手に限定するもの。果た
して地域農業、食料、条
件不利な農地の保全が可
能と考えられるのか。
- ② 意欲ある農家、第一
線で働く高齢者、兼業農
家あつての農村社会。そ
うした生産現場への支援
強化を進めるべき。支援
策は。
- ③ 荒地の解消、都市と
農村交流につながるI

ターン、新規就農者支援
の考えは。

町長・産業振興課長

- ① 今後は「担い手」に
集中する農政転換であ
り、それが経営安定につ
ながるものと考えており
ます。
- ② 小規模農家、兼業農
家については、集落営農
組織に参加されることだ
と考えます。
- ③ 農業委員会などと連
携し、新規就農者にはで
き得る限りの支援を考え
ております。

質問

(株)フランコが
大熊町に大型店出店計画
中であり、周辺小売商業
にとっては死活問題。福
島県商業まちづくり条例
施行前でも、県に対し出
店調整の働きかけを。

産業振興課長

今後、
県の意見聴取がある。動
向を注視します。

**子育て支援、
少子化対策を
急げ**

質問

- ① 町独自の幼稚園補
助、保育所、児童クラブ
の利用料無料化、ひとり
親、子育て相談、児童虐
待ネットワーク事業の具
体化は。
- ② 津島保育所の新築計
画は。

健康福祉課長

- ① 第3子以上の個人負
担の支援や出産祝金の早
期実施を検討しておりま
す。

統括保育所長

- ② 第4次長期計画の実
施計画に盛り込めるよう
協議中です。

木造耐震診断事業の状況は

質問

木造耐震診断の申し込み件数は。

建設課長

10月1日から受付を開始し、11月末現在で4件になっている。なお申し込み予定件数より1件少ないので再募集を考えています。

質問

耐震診断士の派遣業務については。

建設課長

福島県が実施した耐震診断講習を受講し、耐震診断者名簿に登録された方が所属する建築事務所、財団法人福島県建築士協会に委託することになっている。また平成18年度は10件程の予算を申し込みたいと考えてます。

質問

56年度以前の旧基準法で建てられ危険と思われる建物は、浪江町で何件あると思うか。

建設課長

平成15年度の住宅土地統計調査データでは、町全体の住宅戸数が5680戸のうち昭和56年以前に建てた住宅は平成15年度現在で3110戸となっています。

アスベスト対策の実施は

質問

アスベスト対策と実施について、アスベストの除去指導は。

建設課長

県がアスベストに関する対応マニュアルを作成して連絡体制を整えているところですが、町も広報なみえ等でアスベストに関する相談窓口を設置し、相談があれば、相談窓口を通して県の方に相談したり協会に相談し適切な対処をし健康被害予防目的と、一般環境保全並びに公害の防止を目的にしたいと思います。

住民生活課長

環境の整備については。

地球温暖化防止や資源枯渇防止対策のために、森林ボランティアによる植林による自然の再生や、住民による公共下水道や、浄化槽の普及により水質防止策など官民挙げて取り組んでいるところです。また各地域のボランティア団体や各年齢層や職場等を通じて地域活動を展開しており環境の再生に向けて取り組んでいます。

質問

家庭の生ゴミの減量化については。

住民生活課長

分別が多くなったため相当少なくなっています。4月から10月までは9・2%減っているし生ゴミの堆肥化についても調査研究して行きたいと思っています。

自然環境とまちづくり

質問

自然環境の保全と生活

耐震診断を受けて安全・安心



行政視察 レポート



箕郷町議会研修

充実と活性化に努める

● 議会運営委員会委員長

渡部 貞信

先進地視察研修を、10月26、27日の2日間実施し、栃木県壬生町と群馬県箕郷町を視察しました。壬生町の議員定数は、22名（平成17年4月1日現在）特筆としては会派制がとられているところであり、議会運営については、一般質問は質問数3問以内、一問一答方式で質問回数は無制限としているが、質問答弁を含めて60分以内。政務調査費については、各会

派において使途基準にあてまるかどうかを検討し、4月に申し込み、5月下旬に会派送金、報告書・領収書等閲覧できるようにになっており、透明性を明らかにされている。箕郷町は議会構成は、総務・文教厚生・産業建設の常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会、また、平成16年6月に合併任意協議会負担金の先決処分の調査に関する特別委員会が設置

されている。議会の運営については、箕郷町議会の運営に関する基準が作成されそれに基づき運営されている。基準の中から一般質問について取り上げてみると、通告内容が同一の場合、後から通告した議員にその旨を伝え扱いについては、通告者にまかせる。質問時間は、質問答弁を含め60分以内とされている。当議会においても、壬生町・箕郷町にて視察研修した内容について、良しとするものを取り入れながら、議会の充実と活性化に勤めたい。

314名 大人の仲間入り

浪江町の成人式は3日、サンシャイン浪江で行われ、男性160人、女性154人の合わせて314人が大人の仲間入りをしました

111号
表紙より

私の意見を聞いて



地域の宝

半谷 菊枝
大 堀

昨年私は「地域の宝」に参加させていただきました。「地域の宝」とは、地域を豊かにしながら鉄道利用者を増やし、観光開発に取り組むといった内容です。

浪江町は、山、川、海と豊かな自然環境に恵まれ、地場産品では、大堀相馬焼、そして豊かな食料と食品、観光を取り巻く資源が沢山あります。

この素晴らしい浪江町の情報をもっともっと発信し大勢の観光客に来ていただけるようお願いしたいものです。

子供と大人と1本のタスキと

中野 静
川 添



昨年大勢の皆さんの協力で「子供見守り隊」が発足しました。見守られている我が家の下の子は「いつも挨拶するんだ」と言い、放課後見守っている私の母は、「逆に子供に労わられた」と、嬉しそうに話しています。それぞれ知らない人とタスキ1本分の短い会話ですが、それがいつかタスキのように輪になっていくお手伝いが私にも出来るといいなと思います。



コンサートホールがあればいいのに

朝田 るみ子
高 瀬

年に何回か、コンサート、観劇などを楽しみに上京しますが、浪江町にもコンサートホールがあればと、いつも思い描いています。

昨年、浪江青年会議所主催の山形由美コンサートは、素晴らしいものでした。体育館を手作りのコンサート会場にしあげ、主催者側の一生懸命さが見られました。ただ、浪江町にもホールがあれば、見せる側、見る側も、もっと簡単に楽しみ、感動が味わえると思います。

進化する 議会だよりを目指して

● 議会報編集特別委員会委員長

佐々木 恵 寿

岩手県岩泉町議会のいわずも議会議会だよりは、平成16年度、第19回町村議会広報全国コンクールにおいて最優秀賞を受賞しました。平成6年度につづき、なんと2度目の受賞であります。このようなハイレベルの議会だよりを研修させていただ

住民のための議会広報という立場から、その目的をとらえているか(企画・内容)、文章は読みやすく分かりやすいか、用語・用字の使い方は適切か(文章・用語)、的確な見出しを付けているか、読みやすいレイアウトとなっているか、撮影技術はどうか、カット、書き

文字、グラフ、図表の利用はどうか(編集)など技術的なことの習得も問われる分野なので、努力以外の何物でもないと感じました。編集の基本方針は読者の立場に立って、読みやすく、分かりやすい議会だより作りに努めることです。そのために、先進議会の議会だよりの良い点はどんどん取り入れ、常に進化する議会だよりにしていくことを心がけて行きたいと思



岩泉町議会研修

110号の訂正とお詫び

P30の「町民の声」の掲載者名「山田 薫さん」は「山田 馨さん」の誤りでした。お詫びいたします。



郷土芸能の継承

鎌田 太 (北幾世橋)

幾世橋地区は古くから文教の地と呼ばれ、由緒ある伝統文化・民俗芸能が継承されてきました。特に幾世橋地区に

を得ない時期が二十年近くも続いております。

伝わる初発神社男神祭は元禄十四年(1701年)二十一代相馬藩主の相馬昌胤公により創作された神楽で、「標葉郷一番神楽」とも称され、三百余年もの長い歴史があります。

そこで、このままでは地区の伝統芸能が衰退してしまう、また地域住民の親睦・交流が希薄になってしまうことを危惧し、平成十二年に現在の「幾世橋芸能保存会」を組織し、民俗芸能の継承と、地域住民の親睦・交流・融和を図ることを目的として活動を再開したところであります。

踊りのお囃子の音色が今でも心に残っており、是非とも地域の子供たちにも体験させたいと思っております。

私も幼い時に見た勇壮で力強い神楽の舞や、心も踊る盆

現在は、正月の神楽奉納・村祈禱をはじめ夏には盆踊りを開催するなど、伝統文化の継承という目的だけでなく、地域コミュニティ形成の場を作る活動をしています。

今後もこのような機会を通して、「大切さ」を伝えて行ければと思っております。

解散により活動を休止せざる

を

を

編集後記

議会報編集特別委員会では、町民の皆様へ議会だよりを楽しく親しんでいただけるように編集に取り組んでおります。季節の出来事、新たな発見、そして感動シーンなどを企画し、また、議会活動が活発に執り行われている状況などをお伝えしてまいりますので楽しみに。

今年は、314名の成人者、男子の袴姿も多く見られ、Vサインは二十歳の勝利、それともピース・平和を願っているのでしょうか。(記・佐藤 一男)

議長 山本 幸男
委員長 佐々木恵寿
副委員長 佐藤 一男
委員 佐藤 文子/委員 小黒 敬三
委員 田尻 良作/委員 横山 精一



議会活動の近況

11月

- 9日 双葉地方町村議会議員研修
- 11日 議会報編集特別委員会
町村議会広報研修会
- 14日 地方分権改革総決起大会
- 15~16日 国道114号拡幅促進特別委員会行政視察
- 16日 広域圏消防厚生常任委員会
- 17~18日 地域共生型電源開発特別委員会行政視察
- 22日 広域圏総務常任委員会
広域圏議会運営委員会
- 24日 町村議長会全国大会

- 25日 国道114号拡幅促進特別委員会県に陳情
新人議員研修会
- 29日 広域圏議会定例会

12月

- 7日 議会運営委員会
- 13~20日 第6回浪江町議会定例会
- 19日 産業建設常任委員会企業訪問

1月

- 17日 議会報編集特別委員会
- 18~19日 全国原子力発電所立地議会サミット
- 19日 議会報編集特別委員会

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですでお声をお寄せ下さい。